

島根県における糖尿病の管理状況と その課題に関する分析

ふじ い しゅん ご なか もと みのる なぎ ら まさみ
藤 井 俊 吾¹⁾ 中 本 稔¹⁾ 柳 樂 真佐実²⁾
たに ぐち えい さく まき の ゆみこ
谷 口 栄 作³⁾ 牧 野 由美子⁴⁾

キーワード：糖尿病，重症化防止，高血圧，特定健康診査

要 旨

島根県では「島根県糖尿病予防・管理指針」を島根県医師会糖尿病対策委員会と共同作成し，重症化防止に重点をおいて糖尿病対策を推進している。本研究は島根県における糖尿病の管理状況を分析し，今後の取り組みに活かすことを目的として実施した。

島根県における国民健康保険および全国健康保険協会の平成28年度特定健康診査受診者のうち，73,964人を対象者とした。糖尿病有病率は男性 16.6%，女性 9.0%であり，男性の方が高かった。有病者のうち合併症予防のための血糖コントロール目標である HbA1c 7.0%未満を達成している者は男性 64.7%，女性 67.8%と7割に満たず，若年ではその割合がより低く，管理が不十分であった。

市町村の保健担当部門，職域部門と医療機関の連携等を一層進め，糖尿病の適正管理に向け，引き続き取り組む必要がある。

1. 緒 言

わが国では平成12年度より「21世紀における国民健康づくり運動（健康日本21）」が開始され，生活習慣病予防に対する様々な施策が進められており，糖尿病予防もその一つの柱として挙げられ

ている。島根県では平成17年度に「島根県糖尿病予防・管理指針」の初版を島根県医師会糖尿病対策委員会と共同作成し，逐次改訂しながら糖尿病対策を推進しており，現在は重症化防止に重点をおいて取り組んでいる。しかし，島根県における透析患者数は平成30年には1,704人まで増加しており，そのうち糖尿病性腎症の割合は34%となっている¹⁾。

一方，糖尿病は脳血管疾患の危険因子としても注意が必要である。島根県における脳血管疾患の年齢調整死亡率は1990年代以降，男女とも全国平

Shungo FUJII et al.

1) 島根県出雲保健所

2) 島根県隠岐支庁隠岐保健所

3) 島根県健康福祉部健康推進課

4) 公益財団法人ヘルスサイエンスセンター島根

連絡先：〒693-0021 島根県出雲市塩冶町223-1

島根県出雲保健所医事・難病支援課